県仏会報

茨城佛教

第40号

発行
茨城県仏教会
会長　鈴木堯將



臨済宗　向上庵（土浦市）

会長挨拶



茨城県仏教会　会長
平等寺　鈴木堯將

会員各聖の御精進及び本誌協賛各社の益々の御隆昌大慶に存じ上げます。

会長職及び事務職を日蓮宗がお受けしてから、任期である二期四年を全うさせて頂くところまで参りました。浄土宗様より継承しました歴史ある茨城県仏教会というものを、無事にここまで伝え繋げることが出来ましたことに、会長・事務局一同安堵の思いでございます。

これも偏に、県内各宗派各ご寺院の深いご理解と多大なるご支援、そしてその統括代表者として県仏役職者として名を連ねて頂いております各宗派の教区長、所長、支所長、組長、各宗派からご推薦頂いた理事の方々のお力添えのお陰であります。深く御礼を申し上げます。

私は、茨城県仏教会は「大樹」のようなものと考えております。茨城県にはおよそ千三百ほどの寺院があり、その内約八百ヶ寺が県仏に加入しております。それぞれの教義・教学がある中で、自身の宗派のためだけではなく、仏教会全体を見て今何が出来るかを考え、そのために各世代の教師達が縦だけではなく横に向けても手を伸ばし、それが重なり合い大きく成長することによって何事にも動じない「大樹」となっていきます。

「花は雲　鐘は上野か　浅草か」

これは私が四年前に紹介した芭蕉が詠んだ句です。寛永寺と浅草寺の鐘の音が、春の雲と融合している様を情緒豊かに表現しているこの句のように、今も昔も、そしてこれから先も地域の寺の存在が凛然と輝き放っていって頂きたいものであります。そのためにもそれぞれが手を取り合い、これから先も太い幹を、大きな枝葉を広げていって頂きたいと節に願う次第です。

最後に、今後とも茨城県仏教会に多くのご知見ご助力をお願い申し上げまして、挨拶とさせて頂きます。

合掌礼拝

シャーラ・サンガに参加して

シャーラ・サンガ会員
日蓮宗　四恩寺内　小林　咲慧

令和元年六月二十日、第二回茨城県仏教会シャーラ・サンガ（旧女性教師の会）懇談会兼懇親会が水戸京成百貨店にて行われ、役員の方を含め十七名が参加しました。

懇談会では会の名称が全員一致でシャーラ・サンガに決定し、新たに女性教師の絆が生れたように感じられました。

そして、女性教師の中で今後の活動について修学も含め布教に繋がることがしたいという意見の元、十月二十四日に那珂市、浄土宗常福寺様にて二十六夜尊大祭に女性教師四名が法要に出仕し、とても貴重な経験をさせて頂きましたことを心より感謝致します。

そのご報告も含め十一月二十五日の第三回茨城県仏教会シャーラ・サンガの懇談会兼懇親会を水戸京成百貨店にて行い十四名が参加して、今後の活動について意見交換を致しました。







令和元年度 茨城県仏教会研修会

茨城県日蓮宗青年会　副会長　電　貫衛

茨城県仏教会（鈴木堯將会長）は十月九日に石岡プラザホテルで研修会を開催し、同県内の各宗派教師約四十名が参加した。

講師に公益社団法人地域医療振興協会　石岡第一病院口腔外科　茨城県立中央病院歯科口腔外科　筑波大学臨床教授の萩原敏之先生を招き、「口は禍の元！仏教会編」を演題として研修を行った。

萩原先生からは、歯科医療の始まりから近年に至る歯科の歴史や、古代から近代にかけての歯科治療の変化、現代における多種多様な歯科治療の種類や方法、また口腔の問題から起こるといわれる様々な病気の原因など、現代人にとって欠かすことの出来ない重要な口腔についての解説をいただいた。

また「歯の、歯科の」の意味を表すデンタルという言葉は、菩提樹の枝や歯木のサンスクリット語デンタカーシュッタを由来とする仏教発祥の英語であることや、「口は禍の元」の様に口に関係する仏教用語が多く見られるなど、仏教的観点から見ても〝仏教と口〟は古来から密接なつながりがあることをお話いただき、まさに仏教会編として相応しい研修となった。

さらに質疑応答の場では、普段では聞くことの難しい疑問からざっくばらんな質問まで、多岐にわたる質疑応答がなされた。

研修会後は同会場ホテルにて懇親会を行った。講師先生を交え、各宗派教師それぞれが今回の研修に対する意見交換や交流を深め、当会は円成を迎えた。





令和元年度 茨城県宗教連盟研修会

茨城県宗教連盟は、十月十七日に茨城県神社庁で研修会を行った。当会からも十一人参加した。

「災害～今、日本に起きていること」と題し、講師には、曹洞宗　高雲寺住職　米沢智秀先生と衆議院議員武部新政策担当秘書　後藤秀一先生の二人で、それぞれ約一時間ずつの研修が行われた。

米沢先生は、自身の復興支援活動から宗教家の可能性を見出し、災害は突然の葬儀と同じであり、宗教家こそ被災地に行き、心に寄り添い、苦に向き合う事が出来ると述べた。

後藤先生は、今昔マップやハザードマップを利用して災害に備える事や、家族で非常持ち出し品を決めておく事など、災害に備えたより実践的な話だった。

この研修は、台風十五号、十九号の直後で災害を実感している最中であったので、とても有意義なものだった。

茨城県宗教連盟の研修会は年一回、十月頃開催している。参加希望の方は仏教会事務局まで。









婚礼・宴会・宿泊・会議
レストラン等お客様の様々な
ニーズにお応えします

ホテルレイクビュー水戸
HOTEL LAKE VIEW MITO
●JR水戸駅（南口）下車徒歩3分　●駐車場240台　〒310-0015茨城県水戸市宮町1-6-1
お問い合わせ・ご予約　029-224-2727

石のことなら
石の店 はぎわら
フリーコール 0800-888-1483（いしやさん）
ホームページ
https://www.hagiishi.jp
墓苑企画、開発のご相談は、はぎわらへ　●真壁本店　●水戸店　●埼玉各営業所

茨城県仏教会　役職員名簿

役職名	氏名	住所	宗派	寺院名
会長	鈴木堯將	石岡市貝地	日蓮宗	平等寺
副会長	徳永光由	水戸市城東	日蓮宗	妙道教会
副会長	永徳眞隆	常陸大宮市上岩瀬	浄土宗	誕生寺
副会長	奥田俊裕	水戸市元山町	時宗	神応寺
顧問	中村純崇	水戸市元吉田町	天台宗	薬王院
顧問	松本一浩	稲敷市西代	浄土宗	調法寺
監事	小畑賢祐	東海村照沼	真言宗　豊山派	如意輪寺
監事	石崎信昭	常陸大宮市鷹巣	曹洞宗	高長寺
事務局長	長谷川玄應	日立市西成沢	日蓮宗	宝塔寺
事務次長	横川貴教	境町	日蓮宗	実台寺
会計	鈴木堯盛	石岡市貝地	日蓮宗	平等寺
総務部長	安西仁人	常陸太田市上宮河内町	浄土宗	菊蓮寺
総務主事	八鍬篤誠	水戸市河和田町	日蓮宗	本法寺別院
教化部長	黒澤彰哉	かすみがうら市下志筑	真言宗　智山派	文殊院
教化主事	佐藤憲秀	潮来市潮来	日蓮宗	惠雲寺
広報部長	鷺森了英	潮来市潮来	浄土宗	浄國寺
広報主事	古渡乘裕	牛久市牛久町	日蓮宗	観成院
広報委員	綿引海淳	水戸市見川	日蓮宗	妙雲寺
組織渉外部長	村松俊英	石岡市瓦谷	真言宗　豊山派	雲照寺
組織渉外主事	中村康成	笠間市稲田	日蓮宗	円光寺

理　事　名　簿

役職名	氏名	住所	宗派	寺院名
理事	村松俊英	石岡市瓦谷	真言宗　豊山派	雲照寺
理事	山岸聖弘	筑西市伊佐山	真言宗　豊山派	延命寺
理事	黒澤彰哉	かすみがうら市下志筑	真言宗　智山派	文殊院
理事	榎戸俊道	つくば市大曽根（千光寺内）	天台宗	大圓寺
理事	瀬浪純圓	水戸市見川（護國寺内）	天台宗	不動院
理事	山﨑孝裕	つくばみらい市城中	曹洞宗	瑞源寺
理事	伊藤清悦	阿見町島津	曹洞宗	長泰寺
理事	椿文嶺	守谷市高野	臨済宗　妙心寺派	海禪寺
理事	植木辰英	つくば市小野崎	日蓮宗	妙法寺
理事	小林貫壽	古河市旭町	日蓮宗	四恩寺
理事	安西仁人	常陸太田市上宮河内町	浄土宗	菊蓮寺
理事	奥野輝秀	水戸市上水戸	浄土宗	光台寺
理事	佐竹知信	常陸太田市久米町	浄土真宗　本願寺派	正念寺
理事	藤眞澄	水戸市酒門町	真宗大谷派	光圓寺
理事	四倉亮峰	桜川市真壁町古城	時宗	常永寺

宗務機関 兼 評議員名簿（令和元年度）

宗務機関名	役職名	住所	寺院名	氏名
真言宗豊山派第1号宗務支所	支所長	東海村照沼	如意輪寺	小畑賢祐
真言宗豊山派第2号宗務支所	支所長	つくば市栗原	北斗寺	熊田正浩
真言宗豊山派第3号宗務支所	支所長	下妻市下妻丙	円福寺	寺尾法誉
真言宗豊山派第4号宗務支所	支所長	潮来市洲崎	普門院	渡邉英雅
真言宗豊山派中部宗務支所	支所長	筑西市伊佐山	延命寺	山岸聖弘
真言宗豊山派第5号宗務支所	支所長	古河市諸川	宝蔵寺	湯澤宥広
真言宗豊山派第6号宗務支所	支所長	石岡市山崎	吉祥院	照沼信興
真言宗智山派茨城第1教区宗務所	教区長	城里町徳蔵	徳蔵寺	岸野教司
真言宗智山派茨城第2教区宗務所	教区長	神栖市波崎	千手院	黒田照紀
新義真言宗茨城教区宗務所	教区長	土浦市藤沢	神宮寺	森川晃岳
天台宗茨城教区宗務所	所長	笠間市押辺	宗務所	中村純亮
	所長	水戸市元吉田町	薬王院	中村純亮
曹洞宗茨城県宗務所	所長	つくばみらい市城中	瑞源寺	山﨑孝裕
臨済宗妙心寺派東京教区第6部宗務支所	支所長	つくばみらい市筒戸	禪福寺	野村俊光
臨済宗妙心寺派東京教区第10部宗務支所	支所長	鹿島市宮中	根本寺	上原広明
臨済宗建長寺派茨城県宗務支所	支所長	土浦市小野	向上庵	三ツ井宗泉
日蓮宗茨城県宗務所	所長	筑西市甲	星宮寺	相田要練
浄土宗茨城教区教務所	教区長	猿島郡五霞町大字許栗橋	隆岩寺	小村隆宜
浄土真宗本願寺派東京教区茨城東組	組長	常陸太田市久米町	正念寺	佐竹知信
浄土真宗本願寺派東京教区茨城西組	組長	筑西市乙	光徳寺	相馬正
真宗大谷派東京教区茨城第一組	組長	猿島郡境町一ノ谷	妙安寺	中村好
真宗大谷派東京教区茨城第二組	組長	常陸太田市栄町	帰願寺	駒柵信也
時宗茨城県第8教区宗務支所	教区長	つくば市洞下	西光寺	小笠原仁乗
時宗茨城県第9教区宗務支所	教区長	阿見町掛馬	満徳寺	小林正孝

茨城県宗教連盟出向役員

令和1年～3年度

	役職	氏名	宗派	寺院名
1	理事	徳永光由	日蓮宗	妙道教会
2	理事	奥田俊裕	時宗	神応寺
3	評議員	永徳眞隆	浄土宗	誕生寺
4	評議員	黒澤彰哉	真言宗智山派	文殊院
5	評議員	中村純亮	天台宗	薬王院
6	評議員	相田要練	日蓮宗	星宮寺
7	評議員	長谷川玄應	日蓮宗	宝塔寺
8	評議員	鈴木堯盛	日蓮宗	平等寺

平成30年度事業報告

（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

期日	事業内容	開催地	参加者
4月16日	県宗教連盟理事会・評議員会	茨城県神社庁	6名
4月16日	大仏師松本明慶展	水戸京成百貨店	会長他
4月18日	監査	ウエストヒルズ水戸	7名
4月25日	茨城県刑務所出所者等就労支援協議会	水戸生涯学習センター	1名
4月26日	県仏教会理事会	石岡プラザホテル	18名
5月17日	県仏教会総会及び懇親会	ホテル東雲	36名
6月28日	「女性教師の会」準備会	ウエストヒルズ水戸	14名
7月27日	第1回広報委員会（茨城佛教39号の件）・理事会	水戸京成百貨店9F	15名
8月1日	第2回広報委員会	水戸妙雲寺	2名
8月24日	茨城県戦没者慰霊式典	県民文化センター	2名
9月10日 11日	平成30年度　第1回関東甲信越静地区 宗教法人実務研修会（文化庁主催）	埼玉県民保険センター	1名
10月9日	研修会（県宗教連盟と共催）事務打合せ	茨城県神社庁	3名
17日	研修会（県宗教連盟と共催）厚生年金問題 講演　全仏顧問弁護士　長谷川正浩	石岡プラザホテル	62名
11月1日 2日	平成30年度　第2回関東甲信越静地区 宗教法人実務研修会（文化庁主催）	新潟自治会館	
11月12日	第1回茨城県仏教会『女性教師の会』懇談会	水戸京成百貨店9F	19名
12月5日	第3回広報委員会・事務局会議	石岡プラザホテル	11名
1月28日	第4回広報委員会（最終校正）・理事会・新春会	石岡プラザホテル	19名
1月30日	全仏新年懇親会	東京プリンスホテル	1名
2月7日	第9回各宗派布教師会会長等懇談会	ウエストヒルズ水戸	18名
2月28日	第8回各宗派青年会長等懇談会	土浦　かね垂別館	22名
3月1日	第5回広報委員会（茨城佛教　39号発送）	妙雲寺	2名

令和元年度事業計画

（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

期日	事業内容	開催地	参加者
4月7日	顧問　寺内泰俊大和尚本葬儀	曹洞宗　金仙寺	会長他
4月9日	監査	ウエストヒルズ水戸	8名
4月9日	女性教師の会準備会	ウエストヒルズ水戸	8名
4月23日	県宗教連盟理事会・評議員会	茨城県神社庁	8名
4月24日	茨城県刑務所出所者等就労支援協議会	水戸生涯学習センター	1名
5月16日	県仏教会理事会	石岡プラザホテル	20名
5月22日	県仏教会総会及び懇親会	石岡プラザホテル	29名
6月18日	第2回女性教師の会（シャーラサンガ）懇談会・懇親会	水戸京成百貨店9F	17名
7月9日	第1回広報委員会（茨城佛教40号の件）・理事会	石岡プラザホテル	20名
8月1日	第2回広報委員会	水戸妙雲寺	2名
8月30日	茨城県宗教連盟理事会	茨城県神社庁	2名
9月12日 13日	令和元年度　第1回関東甲信越静地区 宗教法人実務研修会（文化庁主催）	山梨県甲府市 ベルクラシック甲府	
10月9日	研修会「口は禍の元仏教会編」　講師 萩原敏之先生	石岡プラザホテル	33名
10月17日	茨城県宗教連盟研修会	茨城県神社庁	2名
11月5日 6日	令和元年度　第2回関東甲信越静地区 宗教法人実務研修会（文化庁主催）	千葉県千葉市文化センター	2名
11月25日	第3回シャーラ・サンガ懇談会・懇親会	水戸京成百貨店9F	14名
12月16日	第3回広報委員会・事務局会議	石岡プラザホテル	15名
1月28日	第4回広報委員会（最終校正）・理事会・新春会	石岡プラザホテル	
1月30日	全仏新年懇親会	東京プリンスホテル	2名
2月6日	第9回各宗派青年会会長等懇談会	土浦　かね垂別館	
2月27日	第10回各宗派布教師会会長等懇談会	ウエストヒルズ水戸	
2月	県宗教連盟理事会	茨城県神社庁	
3月1日	第5回広報委員会（茨城佛教40号発送）	妙雲寺	

各宗転法　各宗活動報告

「真言宗智山派茨城第一教区活動報告」

真言宗智山派茨城第一教区
寶珠院住職　深瀬　隆純

例年、真言宗智山派茨城第一教区では秋の好時節に研修旅行を挙行している。元号が令和に変わった今年も十月初旬研修旅行を行ったので、その報告をさせて頂く。

今年度は北陸新幹線で富山に赴き、周辺の寺院参拝をしてから和倉温泉・加賀屋に宿泊するという内容である。計十一名の住職方が上野駅に集合して北陸新幹線「かがやき」で一路富山に向かった。正午前に富山着。まず高岡市を目指した。国宝瑞龍寺と高岡大仏を参拝、その後和倉市加賀屋旅館に投宿する予定になっている。

瑞龍寺は加賀二代藩主前田利長公の菩提を弔うため三代藩主利常公によって建立された。寺域は三万六千坪。禅堂形式の七堂伽藍を備えた巨刹である。建物も境内も手入れが行き届いていて好印象を受けた。この後高岡大仏を詣でて和倉温泉に向かった。有名な加賀屋のおもてなしに癒された。

翌日は生憎の雨天で計画の変更を迫られた。近江町市場を見学し兼六園近くで昼食をとり、詩人室生犀星ゆかりの雨宝院を参拝した。ほんの概略の紹介になってしまったが今回も意義深い研修を行うことが出来た。





「第二十一回　一隅を照らす運動推進茨城大会」

天台宗茨城教区第八部
福性寺　永田　照心

去る、令和元年十一月十九日午後一時より、大洗町文化センターにおきまして、『第二十一回一隅を照らす運動推進茨城大会』が開催されました。

この一隅を照らす運動とは、昭和四十四年六月二十日高度成長期のなか物質・経済的豊かさを追い求めてきた結果心の大切さというものがないがしろになっているのではないかという危機感を抱き、天台宗として宗教者として社会的使命を果たすために、伝教大師さまの御教えの実践活動としてこのうんどうはおこりました。

今大会では、天台宗一隅を照らす運動が、ちょうど五十周年を迎える記念ということで、教区内各寺院より合わせて約六百名近い団信徒様に参加いただきまして盛大に行われました。

開催にあたり法楽前に教区内寺庭婦人様で構成されております妙華会により和讃奉納が行われました。その後一隅を照らす運動茨城教区本部長の中村純亮師を御導師、教区内各部寺院の代表出仕による法楽が厳かに執り行われました。



早さと正確をモットーに
より美しく、より創造的なプリントワークをめざして
センター印刷株式会社
〒310-0817 水戸市柳町1丁目1番1号
TEL 029-224-4535
FAX 029-225-5007

法楽後の式典では、教区本部長中村純亮師より挨拶があり、また来賓として天台宗宗務総長杜多道雄師、総本山延暦寺執行小堀光實師、一隅を照らす運動総本部長森定慈仁師を迎え、皆さまより今大会が無事に開催されましたことの御祝辞のお言葉を賜りました。



表彰では、永年にわたり檀信徒として寺院護持に貢献されてきたこととして、第八部永福寺檀信徒の方が表彰されました。

表彰後の清興においては、ながと夢保育園の園児たちが一隅を照らす運動のイメージキャラクター「しょうぐうさん」と一緒にしょうぐうさん体操の披露がありました。こちらは、参加いただいた檀信徒の方々からかわいらしい体操でよかったと、大変喜ばれていました。

休憩を挟みまして後半は、相撲の解説や歌手としてまた茨城の観光大使も務めていらっしゃる大至氏による講演が行われました。演題は『辛抱十年甚句の心』の題目の下、ご自身の角界への入門に至るところから、現役時代の経験談等を講演して頂きました。また、講演の途中では、自身が現役時代から巡業などで披露していた甚句を披露していただき会場は大いに盛り上がりをみせました。

また最後になりますが、会場へ入場の際、檀信徒の皆様よりたくさんの救援募金を頂戴いたしました。皆様のご協力ありがとうございました。合掌



「日蓮聖人降誕八百年慶讃・茨城管区小湊合同団参」

日蓮宗茨城県宗務所
茨城管区通信員　相田　恭秀

日蓮宗茨城県宗務所（相田要練宗務所長）は十月十五日から十六日にかけて宗祖降誕八百年慶讃事業／茨城管区・小湊合同団参を開催した。管内僧侶檀信徒二百人が参加した。



一日目は誕生寺で茨城管区慶讃法要が営まれた。法要の中では、管内檀信徒によるお題目写経の納経がなされ、

はせがわ
つなぎます。心と、いのちと、人。
☆会報誌をご持参の上、はせがわ茨城県内店舗にてお仏壇をご購入の方に限り、特別割引価格にてご購入いただけます。
・水戸バイパス店 ・荒川沖店 ・勝田店 ・守谷店 ・イーアスつくば店
水戸バイパス店　電話　0120−724−150

茨城法華和讃会（相田照美会長）がこの日の為に作ったオリジナル和讃を奉詠。委嘱之儀では石川泰道猊下から有難い言葉を頂いた。また、茨城檀信徒協議会星野忠男会長が代表して蘇生の誓いと称し日々の精進を誓った。

二日目は清澄寺に参拝し、旭ヶ森にてお題目を唱えた。二日間の中で日蓮聖人の息吹きを感じ、感動と感謝の参拝の旅となった。



「若手も頑張っています」

浄土真宗本願寺派　茨城東組
正念寺　佐竹　行信

浄土真宗本願寺派では毎年夏の時期に、北関東（茨城・群馬・埼玉・千葉・栃木）合同で二泊三日の「お寺の臨海・林間学校」をさせていただいております。

今年は群馬・埼玉が担当となり、七十二人の子どもたちと一緒に、榛名にて林間学校をさせていただきました。榛名富士の登山や、ボルダリングなど、子ども達と一緒に様々な活動を行いました。またこの活動中は朝夕の勤行を皆で行い、一緒にお念仏を申させていただく毎日を過ごさせていただいております。

なおこの活動は、各県の若手が一年間かけ企画、そして運営をさせていただいております。その企画・運営を行うことや、子どもにも伝わる法話を考えること、当日の子ども達とのかかわり方など、活動を通し学ばせていただくことが数多くあります。大事なお子さんをお預かりしますので大変なことも多いですが、スタッフ皆で楽しみながら頑張っております。

ちなみに来年は、阿字ヶ浦で臨海学校を行う予定となっております。子どもの参加だけでなく、スタッフの参加も募集しておりますので、興味のある方は是非ご連絡ください。

「令和元年（平成三十一年）時宗活動報告」

教住寺　鈴木　正司

本年は、時宗二祖他阿真教上人七百年御遠忌を迎えました。この御遠忌に向けて二祖上人御遠忌実行委員会が発足し、様々な事業が展開されています。茨城教区からは、満徳寺　小林正孝師、教住寺　鈴木正司が実行委員会に参画されました。

時宗教団は宗祖一遍上人によって蒔かれた念仏の種を他阿真教上人が育み教団として確立されました。したがって、二祖他阿真教上人は紛れもなく時宗教団の創立者である、といっても過言ではありません。

この御遠忌では一遍上人が二祖上人に「南無阿弥陀仏はうれしきか」と問いかけられたお言葉をスローガンにしています。この角度から春季には京都国立博物館で、秋季には遊行寺宝物館・神奈川県立博物館で、展覧会が開催されました。

さて、お待ち受け法要は福井県来迎寺で行われ、一の宮気比神宮に遊行上人が参拝されました。この神社には二祖他阿真教上人の功績を讃えて銅像が門前に建立されています。『奥の細道』には『月清し　遊行のもてる砂の上』と芭蕉が二祖他阿真教上人の事績を詠んでいます。茨城教区からは仏青会長富田教王師が参加されました。

結願法要は十月に厳修され、踊り念仏・双盤念仏等が盛大に行われました。踊念仏は盆踊りの起源とされ、踊りと念仏との融合された念仏三昧の世界です。双盤念仏は、鉦・太鼓・半鐘・念仏衆による念仏ハーモニーの世界です。このように茨城教区は、御遠忌法要にさまざまな形で関わり合いました。



茨城県仏教会

● 本　部（石岡市　平等寺）
会長：鈴木　堯將
住所：石岡市貝地２－７－８
電話：0299-22-3662

● 事務局（日立市　宝塔寺）
事務局長：長谷川玄應
住所：日立市西成沢２－11－１
電話：0294-37-2617



JA祭典
24時間365日対応
<URL> http://www.i-ks.jp/

那珂ホール TEL.029-352-0983
ひたちなかホール TEL.029-285-5942
金上ホール TEL.029-354-0983
東水戸ホール TEL.029-247-5942
おくのやホール TEL.029-219-0983
中央水戸ホール TEL.029-297-7722
ほこたホール TEL.0291-34-0983
潮来ホール TEL.0299-80-1889
いなしきホール TEL.0297-87-5942
小絹ホール TEL.0297-52-5942
山王ホール TEL.0297-70-4194
城里ホール TEL.029-291-4194


ご宿泊／ウエディング／各種会合・ご宴会／レストラン

Hotel the West Hills mito

ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸
〒310-0031 茨城県水戸市大工町 1-2-1（大工町バス停前）
◇代　表 029-303-5111　◇婚礼課 029-353-7878
◇営業課 029-303-5126　◇レストラン 029-303-5115

株式会社 埼玉法衣
電話048(853)9624
FAX048(853)8631
寺院専門、御用達——
白衣（二部式）
改良服
襦袢 足袋
作務衣
各種お洗濯
その他お仕立て
一着より謹製承ります。
まずはお問い合わせください。

「安心・安全・健康」のためにお役にたちます

●ご住職やご家族の皆さまの安心・健康に生命保険や所得補償保険、本堂や庫裏、仏具等の安全に火災保険など、寺院運営に係る保険をご案内させていただきます。

With-i

保険のテーアである「愛」を、寄り添う二人のハートで表しました。

損保ジャパン日本興亜㈱・第一生命保険㈱
損保ジャパン日本興亜ひまわり生命代理店

株式会社 **ウィズアイ保険**

（本社・潮来事務所）　311-2423　潮来市日の出 2-24-21　☎0299-94-3663
（鉾田オフィス）　311-1517　鉾田市鉾田 2492-10　☎0291-34-9021

ウィズアイ保険のホームページ　ウィズアイ保険 検索　http://www.sjnk-ag.com//with_i/



葬儀のすべてを信頼と実績のある
老舗（創業明治元年）の当社へ安心してお任せください。



事前（生前）打ち合わせ無料　秘密厳守

葬祭場 報恩殿　水戸市谷田町908-1　TEL029-300-4531

㈱齊藤豊元社
水戸市東台1-12-16　FAX029-221-3794
TEL 029-221-3630
http://www.hougensya.com

防犯カメラのことならお任せください！

～寺社施工実績多数～



歴史的財産を守るために！

～防犯カメラ設置のメリット～

■目が届かない場所（死角）をなくす
■証拠として残る ⇒ 高い犯罪抑止力

タカギセキュリティーは長年にわたって寺社に特化した防犯カメラ設置業務に携わってきており、重要文化財施設への施工実績も有する高い技術力と寺社の特性にマッチしたきめ細やかなサポートには自信を持っています。

TAKAGI SECURITY

お見積もりは無料です　タカギセキュリティー 検索

株式会社 **タカギセキュリティー**

0297-66-0270

〒301-0046　茨城県龍ケ崎市入地町381-1
http://www.takagi-security.com

墓石・石塔の建立と石材の流通

真言宗智山派文殊院　黒澤　彰哉

昨今、墓地の希望者よりも、墓じまいの相談が増えてきた、というご寺院が多いのではなかろうか。ご多分に漏れず、拙寺でも後継者のいない墓地が増加している。その理由は、少子化で後継者がいない、又は子供の居住地が遠方なので、自分の代で先祖の墓を整理したいというものである。そこで、今回は墓じまいの対象である、墓石・石塔について考えてみることにする。

◆石造五輪塔の出現

県内の墓石としては、つくば市小田の極楽寺跡石造五輪塔が最古である。ここは、鎌倉時代の真言律宗の僧である、忍性が止住していた場所として知られている。真言律宗は、奈良西大寺の叡尊が開いた宗派で、貧民やハンセン病患者など、社会的弱者の救済に尽力したことで知られている。叡尊の弟子である忍性は、『性公大徳譜』によると多くの困窮の人々を救っただけでなく、八三の寺院を建立し、一八九ケ所の橋を架け、七一の道路を修築したとされている。

忍性の活動には、多くの技術者が必要であり、そのひとつに大蔵派という石工集団があった。真言律宗の広まった地域には、同じような五輪塔や宝篋印塔などが存在しているが、これらは全て大蔵派の石工によって造られたものである。

極楽寺跡にある石造五輪塔（写真1）も、奈良西大寺の叡尊五輪塔や、鎌倉極楽寺の忍性五輪塔と相似形で、基礎石の下から、青銅製の骨臓器が出土していることから、忍性に縁のある僧の墓石と考えられている。



写真1　極楽寺跡の五輪塔

この西大寺系の石工集団により、県南地域には、石造五輪塔が数多く作られるようになる。その背景には、鎌倉時代から室町時代にかけて、この地を支配していた小田氏の存在があった。また、近くには花崗岩を産出する山があり、容易に入手できる地の利が、五輪塔を増加させる要因となった。

石材となった花崗岩は、山中に露頭しているものを切り出したもので、おのずと大きさには限界があった。製品となった五輪塔は、恋瀬川の支流である天の川や、桜川などの河川を利用して搬出された。室町時代の石造五輪塔や、六地蔵宝幢が霞ヶ浦沿岸に広く分布するのは、石材の切り出しと加工の技術が、長くこの地に伝えられていたことを物語っている。五輪塔は僧だけでなく、武士の墓石として普及したようで、小田氏の居城であった小田城跡からは、数多くの五輪塔が出土している（写真2）。



写真2　小田城跡の五輪塔群

この花崗岩製の五輪塔であるが、鎌倉時代の極楽寺跡五輪塔を基準にすると、反（かえ）り花を持つ基礎石の上に、四角形の地輪、円形の水輪、軒反りを持つ火輪、宝珠形の風空輪を重ねるのが特長である。

これが室町時代になると、反り花の基礎石はなくなり、軒反りのあった火輪は扁平な軒となる。特に顕著なのは空風輪の形で、宝珠形だったものが崩れ、正面感（一方向からの姿）があらわれて角ばった形になっていく。

ところで、庶民はいつ頃から墓石を建てるようになったのだろうか。これを考えるためには、「埋め墓」と「詣り墓」という、両墓制から考えていく必要がある。両墓制は、茨城県内でも広く見ることができる墓制で、亡骸を埋葬する場所（埋め墓）と、墓石を建てて供養する場所（詣り墓）に分かれる墓制のことである。埋め墓を村はずれに置き、供養塔の詣り墓を村落内の寺院に置く例や、両者をひとつの墓地の中で分けている場合がある。

本来、土葬（埋め墓）だけだったものが、庶民も墓石を建て始めたことで、詣り墓が出現する。墓石を建てる場合、共同墓地では墓石を置いた場所に所有権はなく、占有権として先祖の墓石を置くことが許される。同様に、埋め墓も占有権だけが存在し、同じ場所に何代も繰り返し埋葬されることになる。

このような共同墓地の性格から、供養塔の出現が、結果的に両墓制を誕生させることになる。県南地方に小型の石造五輪塔が爆発的に広がるのは、村落の草分け的な農民の墓石となったからで、江戸時代における農村集落の成立と、連動して出現したことが分かる。

◆小松石による供養塔の出現

現在、小松石は一種のブランド品で、なかなか使うことのできない、高級石材である。小松石は、箱根山の火山噴火により、流れ出た溶岩が固まって形成された安山岩で、神奈川県真鶴町の小松山から採れるのでこの名前がある。

真鶴半島では、安山岩を切り出した跡を、海岸に見ることができる（写真3）が、現在も山中で石の採掘が行われており、多くの業者が墓石を製作している。



写真３　真鶴半島番場浦の採石場跡

小松石が全国的に知られるようになったのは、徳川家康によって江戸城が築城されてからで、江戸城の石垣を構築するため、伊豆半島の伊豆石とともに、真鶴半島の小松石が江戸に運ばれてからである。安山岩製の石垣は、自然石を積み上げた乱石積の石垣と異なり、隙間のない切り込み剥ぎで造られており、堅牢な石垣となっている。

安山岩は、石質が良く加工しやすいためか、灯篭石や墓石・供養塔にも利用されている。花崗岩は細工が難しく、文字を刻んでも摩滅して読めなくなってしまうが、安山岩は細かな細工ができ、文字が摩滅しないという特長から、江戸で広く利用されたのである。

この為、江戸時代前期には独特な形の宝篋印塔が流行した（写真４）。相輪の請け花が著しく装飾化したこの宝篋印塔は、寛永年間に爆発的に流行し、江戸の寺院だけでなく、下総国や常陸国にも広がりを見せたのである。

一例をあげるなら、水戸市大串町に同様の石造宝篋印塔が存在するが、寛永二十一年（一六四四）に水戸藩次席家老であった、松平壱岐守正朝の供養塔である。県内には安山岩を産出する山がないので、大串町の宝篋印塔は他から運び込まれたことになる。

このような宝篋印塔は、取手市、利根町、龍ヶ崎市、稲敷市、潮来市などの寺院や墓地に存在する。その分布は、霞ヶ浦沿岸や利根川流域に限られており、県北や県西ではあまり見ることがない。つまり、この宝篋印塔は船で運ぶことができる地域に限られていることが分かる。



写真４　千葉県龍角寺の宝篋印塔群

江戸で加工された安産岩製の宝篋印塔は、江戸川を遡って利根川に入り、利根川を下って霞ヶ浦に運ばれたのである。大串の宝篋印塔は、霞ヶ浦から北浦を経由して巴川を紅葉まで遡り、紅葉から涸沼沿岸の海老沢まで陸路を利用し、涸沼川を船で大串まで運ばれたものと考えられている。この経路は、江戸と東北地方の物資を輸送する、重要な交通路となっていたようで、江戸時代には「那珂湊内海江戸廻」（なかみなとうちうみえどまわり）とよばれていた。

◆石材の多角化と流通経路

墓石・石塔の石材には、花崗岩や安山岩のほか、雲母片岩や砂岩があり、実際には複雑な需要と供給の関係性があった。

雲母片岩は、つくば市平沢、土浦市東城寺、石岡市染谷などが産出地で、この石材は古墳時代の石棺材として千葉県まで広がっており、各時代を通して長く墓石や石塔の石材として利用された。

砂岩は、房総半島が産出地で、室町から江戸時代にかけて、墓石や石塔に利用された。

明治時代に入ると、仙台石と呼ばれる扁平な板石が爆発的に流通した。この石材は、硬質で扁平なため、細い文字を刻むことが可能であることから、戦没者の慰霊碑や忠魂碑に利用されたのである。

◆墓石のゆくえ

現在、県内の石材業者の機械はほとんど動いておらず、店頭に並んでいるのは同じ形の墓石や石仏ばかりである。これらの多くは中国製品で、日本から設計図で注文し、中国で加工されたものであり、現在の墓石は、中国で加工されたものと、国内で伝統工法により加工されたものとに二極化しているのが現状である。

また、散骨や樹木葬、ビル型収納施設が注目されてきたためか、従来型の墓石の希望者が減少している傾向がある。昭和期の霊園ブームが嘘のような話ではあるが、墓地に価値を見出さないのは、墓じまいというかたちになってあらわれている。墓地を求めない理由は、将来的に墓地を継承する負担を、子供や孫に負わせたくない、というものである。

墓じまいも、二〇一四年頃から言われだした言葉であるが、少子化により後継者不足となってきたのが、大きな理由である。このような背景にあるのは、日本経済の低成長からくる生活不安や、それに関連した少子化という、社会的な負の連鎖意識なのかもしれない。

しかしながら、墓地は家族祭祀の場であり、家族の結びつきを再確認できるところである。かつて、ルーツという映画が流行ったころ、先祖への意識が高まったことがあった。時代が変わろうとも、家族祭祀の存在意義は不変のものである。その意義を法話などで語り続けることが、墓地離れを防ぐ手段なのかもしれない。それと同時に、負の意識をもたせない、適正な寺院経営がもとめられているのも確かであろう。

ご旅行のご用命は・・

SHOKA TOURS Bビーエス観光

フリーダイヤル 0120-4041-77

本社営業所　東京都港区新橋3-2-7　TEL03-3502-4041

御本山参拝 ・ 各地巡礼巡拝 ・ 祖跡霊場参拝・ 中国シルクロード

お釈迦様の聖地 インド巡拝 ・ ミャンマー仏教遺跡 … など

海外・国内・団体・個人問わず お問合せ下さい!



Gibraltar ジブラルタ生命

私たちジブラルタ生命は、一人ひとりのお客様に生命保険の
真価を正しく伝え、真に役立つ生命保険を提供し、
保険金を支払うまで誠実に生命保険サービスを続けることで
お客様とそのご家族に経済的な保障と心の平和をお届けします。

ジブラルタ生命は、【茨城県仏教会提携保険会社】です。茨城県仏教会は、ジブラルタ生命との
連携により「退職金積立プラン」「終身保障プラン」加入の推進をさせていただいております。

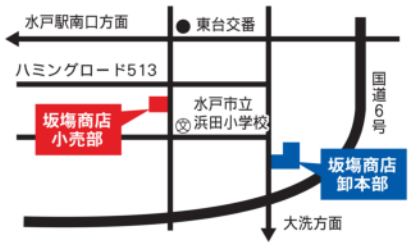
ジブラルタ生命保険株式会社　宇都宮支社　宇都宮第二営業所　担当：阿見　とも子
栃木県宇都宮市大通り２－３－１　井門宇都宮ビル6F　TEL：028－614－3601

紙类物 雑商卸
坂場辰之介商店

創業 明治26年

お線香・かおりの店 坂場商店 小売部
寺院用長才線香・進物用線香・お香・香炉 各種
水戸市本町2-7-8 tel：029（231）6217

日用品・雑貨卸業 坂場商店 卸本部
日用品、雑貨、文具、事務機器 各種
水戸市浜田2-15-39 tel：029-225-3138



50年後、100年後の信頼を大切にします
● 仏壇・仏具・寺院用具、取扱店 ●

真心で より良い品を より安く

お仏壇の まつや

総本店／東茨城郡茨城町長岡3523-39 ☎029-291-0033
那珂店／那珂市菅谷2297-1 ☎029-295-3740
石岡店／石岡市国府4-4-23 ☎0299-56-3794
ホームページ http://i-matsuya.com

故人を偲ぶ 大切な御法要後の会食に・・・
石岡プラザホテルの
御法要会席
駅から近く ご好評を頂いております
その他 同窓会
各種ご宴会も承ります

石岡プラザホテル
〒315-0014
茨城県石岡市国府1-6-33
ご予約・お問い合わせは
0299-24-1110 または 0120-140-408

京成百貨店 9階 レストラン街のご案内

和食＆居酒屋　手作り料理とお酒 えん　座席数：150席



和風モダンの落ち着いた空間で、旬の素材を活かした手作りの和食が味わえる和食居酒屋。本物の料理の旨み・深みを味わっていただきたく、毎日出汁をひくことから始めます。ジャズが流れる、大人の空間でゆっくりとお寛ぎください。心からのおもてなしをいたします。

TEL.029-302-5096(直通)
営業時間：11:00～22:00(ラストオーダー21:30)
15:00まで全席禁煙、以降は一部喫煙可能

洋食　オイスターバー GUMBO & OYSTER BAR　座席数：42席



世界各地から厳選した新鮮で安全な生牡蠣を一年中楽しめる、スタイリッシュなカジュアルダイニング。
名物料理の「ガンボ」をはじめ、サラダ・パスタなどシーフード料理の数々もご用意しております。特製ソースで旬の牡蠣をお楽しみください。

TEL.029-302-5037(直通)
営業時間：11:00～22:00(ラストオーダー21:30)
終日全席禁煙

韓国料理　韓国旬彩料理 妻家房 SAIKABO　座席数：72席



新宿区四谷に本店を構える韓国料理店「妻家房」。
料理研究家"柳香姫"が素材にこだわり、手法にこだわり、守り続けたオモニ(お母さん)伝統の味。手間を惜しまず作るからこそ美味しい、そして、からだにやさしい韓国旬彩料理です。

TEL.029-302-5108(直通)
営業時間：11:00～22:00(ラストオーダー21:30)
終日全席禁煙

寿司＆居酒屋　源太すし　座席数：82席



寿司や和食を中心に、バリエーションに富んだ、四季折々の美味しい料理を展開し、ご家族での団欒から、ご接待・ご会食・ご宴会など幅広いシチュエーションでご利用いただけます。なおアルコールも各種取り揃え、一番のおすすめは強炭酸ハイボールです。夜は居酒屋としてもお楽しみいただけます。

TEL.029-232-8665(直通)
営業時間：11:00～22:00(ラストオーダー21:00)
終日全席禁煙

洋食　ステーキ&ハンバーグ ウエスタン牧場　座席数：70席



旨味の元であるアミノ酸を多く含み、柔らかくきめ細やかな肉質、口の中に入れた瞬間のとろけるような食感が味わえる赤城牛ハンバーグや、農園直送サラダバーでお客様のご来店をお待ちしております。

TEL.029-302-5141(直通)
営業時間：11:00～22:00(ラストオーダー21:00)
終日全席禁煙

和食　ゆば・豆腐料理 ゆばの里 真慈庵　座席数：80席



奥久慈の名産「奥久慈大子ゆば」は、かの食通・水戸黄門がワサビで食して感嘆し、接待に用いたと云われています。
奥久慈の「蔵と竹林」の中で豆腐・ゆば料理をご堪能ください。

TEL.029-232-8422(直通)
営業時間：11:00～22:00(ラストオーダー21:00)
終日全席禁煙

中国料理　中国料理 景山　座席数：96席



京成ホテルがお送りする本格中国料理。
落ち着きと華やかさをあわせもつインテリア、古典と現在をやさしく調和させました。中国料理の楽しさをお召しあがりください。

TEL.029-302-5105(直通)
営業時間：11:00～22:00(ラストオーダー21:00)
終日全席禁煙

そば　日本そば 永坂更科 布屋太兵衛　座席数：84席



そばの実の甘皮を除き、芯のみをぜいたくに打ち上げた純白のそばは、将軍家や大名に献上したことから「御前そば」と呼ばれます。
以降江戸前そばとして創業210余年、文化を作り上げてきた名店が贈る、絶妙な味をどうぞご堪能ください。

TEL.029-232-9038(直通)
営業時間：11:00～22:00(ラストオーダー21:00)
終日全席禁煙

イタリアン　パスタ Groovy　座席数：88席



地元で好評のイタリアンで、ファンを多く取り込んできた人気店。
オリジナルの豊富なメニューとあふれるボリューム、こだわりのケーキやパフェも充実していることから、多くの女性の圧倒的支持を受け続けています。

TEL.029-302-5555(直通)
営業時間：11:00～22:00(ラストオーダー21:00)
終日全席禁煙

とんかつ　こだわりとんかつ あぢま　座席数：64席



茨城県産の銘柄豚ローズポークを使った安心で安全な豚肉。素材の旨みを生かす為に塩でいただくのがあぢま流。パン粉や水にこだわり、美味しいお米は地元茨城からの贈り物。体に優しいとんかつをご賞味ください。

TEL.029-302-5067(直通)
営業時間：11:00～22:00(ラストオーダー21:00)
終日全席禁煙

甘味　甘味・食事処 麻布茶房　座席数：56席



東京生まれの本格的甘味・食事処「麻布茶房」。
和の雰囲気を現代風にアレンジし、アンティークを施した落ち着きある店内で、バラエティに富んだメニューから和風スイーツとお食事を、心ゆくまでお楽しみください。

TEL.029-232-9070(直通)
営業時間：10:30～21:30(ラストオーダー21:00)
終日全席禁煙

～バンケットルームのご案内～

ご宴会・ご会合・各種パーティに、本格派レストランの味を。
お料理は、和食・洋食・中国・韓国の多彩な13店舗のメニューの中から、ご予算に合わせてお選びいただけます。



結婚式の二次会など立席パーティご利用として。



法事・ご宴会など着席ご利用として。

パーテーションをはずせば立席で100名様までご利用いただけます。



(全室90.1㎡)

お子様安心対応　車椅子可　個室有　座 お座敷有　お酒有　ご予約可
パーティー・宴会可　テイクアウト
※お酒は、各店ご用意しております。※お席のご予約は各店承っております。



いいものいいこと・いつもいっぱい
KEISEI 京成百貨店 〒310-0026 水戸市泉町1-6-1
TEL.029-231-1111(大代表) www.mitokeisei.co.jp

自由投稿欄



【冬　柿】

「桜の見頃はいつごろでしょうねえ？」

「まあ茨城は４月の上旬、第１週くらいですかねえ」

何気なく会話している我々ですが、大きな勘違いをしています。〈桜の花が咲いている時期〉は、確かにその頃ですが、〈桜の見頃〉は、蕾の時期も、花吹雪の時期も、緑の葉を広げた時期も、紅葉も、落葉も、そして冬の凩に春の芽をつけた枝が耐えている姿も、すべてが〈見頃〉です。桜はいつもいのち一杯に生きています。我々が勝手に花の時期だけを見頃と決めつけているだけです。「もう桜は終わっちまったねえ…」いえいえ、葉っぱを広げてぐんぐん生長する時季に入ったのです。〈花〉も〈葉〉も〈葉のない枝〉も、すべてが輝く、美しい、尊い、いのちの姿です。

「私の人生、あの頃はよかったのになあ」ついつい愚痴に出してしまいますが、〈あの頃は〉よかったのではなく、〈あの頃も〉よかった、そして〈今もいい〉のです。《は》から《も》に替えてみると、受け止め方が変わります。合掌。

菊蓮寺　安西　仁人



四度の瀧

場所　大子町袋田

空は碧く澄んでいる。東京のテレビ局も来てきれいな女優さんも来ていた。パチリ。
おっとこれは四度の瀧でした。　（石﨑　信昭）

題字揮毫について

「書」今想うこと

石﨑　信昭

中国の書家柳公権は「書は心画なり」と言った。日本の空海は書を論じて、時の嵯峨天皇に「書は散なり」と申しあげた。漢の蔡邕の「筆論」から採ったことばだという。空海は「六塵ことごとく文字なり」と言った。

現代の画家川端龍子は「書もまた人なり」と言った。人と言うは心であり、人と言うは魂である。いぶし銀の人からしかいぶし銀の芸術は生まれ得ない。人格を離れての芸術は生まれ得ない。芸術は時代の落し子でもある。時代を離れての芸術はあり得ない。中国の戦国時代の武将顔真卿の書は太く逞しく、貴族王義之の書は格調高く美しい。

日本の宮廷の貴人たちの書も雅（みやび）て美しい。宮廷の女官たちの仮名文字もまた優美である。平安時代という、時代の落し子なのであろうか。美しい精神の落し子。美しい魂の落し子なのであろうか。「書は心画なり」という柳公権のことばに、静かにうなずく私である。

掲示板

通年行事

九月　宗教法人実務研修（第一回）
十一月　宗教法人実務研修（第二回）
十一月　県仏研修会
二月　各宗派布教師会会長等懇談会
二月　各宗派青年会長等懇談会

右記行事が通年行われております。参加御希望の各聖は二カ月前迄に仏教会事務局長迄ご連絡下さい。

〇二九四－三七－二六一七　宝塔寺

全仏からのお知らせ

災害救援活動助成金について

寺院（住職・教師等）が主体の団体による、国内外の被災地を対象とした支活動を助成金拠出対象とします。詳細は全仏ホームページ、又は茨城県仏教会事務局までお尋ね下さい。

右記の大蔵経データベース運営支援として、当会からも賛助をしております。

『大正新脩大蔵經』の第１巻から第八十五巻までの全テキストをデータベース化しておりますので、皆様もご活用ください。



画像引用元：
SAT大正新脩大蔵経テキストデータベース
http://21dzk.l.u-tokyo.ac.jp/SAT/

巻頭写真寺院

臨済宗建長寺派　向上庵

住職　三ツ井宗泉

向上庵は禅宗中峯派開闢の師、復庵宗己大光禅師により南北朝の歴応四年（一三四一年）創建されました。

禅師は常州に生まれ、出家して天目山中峯和尚に学びました。帰国後、禅師に帰依した氏により、結城や城里、三春などに寺が建てられています。

多くの法嗣、神足を輩出しました向上庵も天正戦乱の砌には災火にて堂宇などを失いました。

江戸中期再建された現本堂欄間の彫刻には延享四年（一七四七年）の墨書があり寺領、塔頭等を有していた往時が偲ばれます。

本堂東側に有る石庭は翠の巌を配し、室町時代初期の庭園様式を表しています。筧の水音に脈々と伝わる法灯が感じられます。

編集後記

会報四十号をお届け致します。

この会報誌の編集作業を引き継ぎまして四年、右も左も分からない中でここまで続けてこられたのも、仏教会の理事・役職員方々の御指導と、評議員様方をはじめとした各宗各聖による多くの活動報告の御寄稿、そして協賛広告に御協力を頂いている多くの企業様方のお陰でございます。この場をお借り致しまして心より御礼申し上げます。

又、広報の仕事を通じて各宗派の御上人様方、協賛企業様方との縁を結ぶことが出来ました。本当に有難く感じております。この「仏縁」を大切にして、今後も精進して参る所存です。

一頁の会長挨拶にて、鈴木会長は茨城仏教会は「大樹」のようなものであると表現しておりました。各宗派が手を取り合い、太い幹を、大きな枝葉を形成していく。この会報誌が少しでもその活動の一助となっているのであれば幸いです。

今後もより大きな「大樹」になれるよう各宗派和合交流に努めて参りますので、茨城県仏教会への尚一層の御協力と御協賛をお願い致しまして、挨拶とさせて頂きます。

合　掌

広報主事　古渡　乗裕
広報委員　綿引　海淳